

2014（平成 26）年度事業報告書

2014（平成 26）年 4 月 1 日から 2015（平成 27）年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人おきなわCAPセンター

1 事業の成果

2014 年度は、提供事業、学習啓発事業、ネットワーク事業を通じて子ども支援に携わる団体や関係機関との連携をより一層深めることができた年となった。全国トレーナーを招き、CAP スペシャリスト養成講座を開催して、暴力防止活動を行う新しいメンバーを増やすことができたのは大きな成果である。さらに不審者対策に特化した新しいプログラムを提供する「安全サポーター」の養成講座を行い、地域で気軽に子ども支援ができる人材の育成も行った。また、沖縄県からの委託事業である子ども虐待防止のための講演会・研修会も 3 年目となり、県内で虐待防止に向けた意識、啓発が浸透している。

(1) CAP ワークショップ（暴力防止プログラム）提供事業

183 回のワークショップ提供

2014 年度は、子どもワークショップ 103 回、大人ワークショップ 80 回、合計 183 回提供することができた。学校からの申し込みが年々減少する中、市町村との協働で行う事業は着実に継続できている。那覇市（思春期の心と体のための意識啓発事業・那覇市立中学校 9 校にて計 51 回）は 4 年目となった。6 年目となる浦添市（児童虐待防止対策事業・浦添市立小学校と学童クラブにて 7 回）、3 年目の北中城村（児童虐待防止緊急対応強化事業・村内幼稚園、小学校等 16 回）からの委託も順調に継続されている。その他、児童養護施設職員等資質向上支援事業による沖縄県からの委託も 3 年目となり、各施設との関係性の向上につながっている。その結果、児童養護施設より独自の依頼を受け、子どもワークショップも実施することができた。各種助成金を活用した、特別支援学校（8 回）、母子支援施設（6 回）、児童養護施設（1 回）でのワークショップについては、毎年継続して実施することの意義を理解してもらい依頼先施設からよい反応があがっている。

デートDVの予防・啓発の取り組み

大人へのワークショップ提供事業のうち、那覇市内中学校での大人ワークショップは、デートDV防止の一貫としての取り組みとして、9 校の保護者や教職員に、思春期の子ども理解とデートDVに関する知識を学び共有する機会となった。那覇市中学校 9 校の 1 年生（42 クラス）には、CAP プログラムとともに自分の心と体を大切にするという視点から、デート DV についての情報と相談機関を伝えた。また、新たな取り組みとして、思春期の人間関係づくりのヒントを提供するデートDV防止のための「さくらんぼプログラム」を、宜野湾市立全中学校（4 校）、沖縄高等特別支援学校 1、2 年生に実施。実施校から好評を得ている「さくらんぼプログラム」については、市町村女性行政担当者研修、南城市で大人向けにプログラム紹介を行った。

児童養護施設へのワークショップ

沖縄県青少年・子ども家庭課の委託を受け「児童養護施設等資質向上支援事業」による職員向け研修を実施。3年目となる今年度は、各施設職員同士の連携に着目したワークショップの他、選択式プログラムの中からリクエストを受けワークショップを提供。「アサーティブ」「ネットトラブル対策」「気持ちのワークショップ」など、各施設のニーズに合わせて実施した。全職員が同じ研修を受講して共有できるように時間帯をずらして2回に分けて開催。また職員その他、地域の里親やグループホーム従事者も参加し、相互理解に向けた交流および情報提供を行った。

(2) ワorkshop提供のための人材育成事業

CAPスペシャリスト養成講座の開催

子どもを支援する人材を増やすための「子どもへの暴力防止基礎講座」を12月に開催。子ども支援に携わる専門職、行政職員などを含め子どもに関わる立場の参加者が3日間集中して受講。その修了者と県外からの参加者23名が、2月にCAPワークショップを提供するメンバーとなるスペシャリスト養成講座を受講。沖縄県に新たなCAPスペシャリスト19名が誕生した。

内部研修会

月に一度の定例会の中で、社会保険労務士による「労働問題研修」、社会問題になっている「スマホ社会が子どもへ及ぼす影響」についての研修を行った。また、J-CAPTA チーフディレクター兼トレーナーによる安全サポーター養成講座のプログラム開発についての基本的考え方や女性と子どものエンパワメント、暴力防止の伝え方などを学び、プログラムの組み立てを行った。さらに、沖縄県中央児童相談所へ出向き、児童相談所の役割と沖縄県の現状、虐待の通告と相談について学びを深めた。

研修派遣

県内での各種研修会、講演会へ毎月メンバーを派遣。それぞれがスキルアップに努めた。また、兵庫県での「スマホ社会の子どもたち研修」へ1名派遣。内部研修や養護施設での職員向けワークショップに研修内容を取り入れることができた。

(3) 子どもへの暴力防止についての学習・啓発事業

性教育講座（幼児期、障がいのある子ども、知的障がいのある子ども）

すべての子どもが自分の体と性に関する正しい知識を持って、人権を侵害されることなく自分を守るために、命に関わる性についての講座を3回開催。まずは大人が恥ずかしながら性にについて語れるようになると、CAPスペシャリストでもある思春期保健相談士の徳永桂子さん、リアライズ YOKOHAMA の橋本明子さんを迎え、距離のとり方を交えて性教育講座を行った。

総会記念講演会の実施

2014年総会記念講話は、名桜大学准教授・アサーティブジャパントレーナーの竹沢昌子さんを講師に「アサーティブネス講座（入門編）」を開催。参加者は、人間関係を円滑にする率直な自己表現方法と、すぐに使えるコミュニケーションスキルを習得した。

リフカー研修

性虐待の疑われる子どもの話を聴く際に用いる「リフカープロトコール」についての研修を開催。2日間定員80名の枠がすぐに埋まり、申し込み者の反応の速さからも非常にニーズの高い研修であることが伺えた。

安全サポーター養成講座

沖縄県女性力・地域力発揮人材育成事業の助成を受けて、9月から3ヶ月連続講座を開講した。女性や子どもが安心して安全に暮らせる地域を目指して、サポートができる大人を増やすことが目的。開講前の特別公開講座として、北海道のJ-CAPTA チーフディレクター木村里美さんによる「不審者対策ウソ・ホント」、修了者向けフォローアップ講座として、自己尊重トレーナー北村年子さんによる「自尊感情を高めるワークショップ」を開催。防犯力アップにつながる安全サポーターが12名誕生し、地域で活動を始められている。

アロハ・ヨガとエンパワメント

エンパワメントセンター主宰の森田ゆりさんによる新しい講座を沖縄県で初開催。ヨガと呼吸法を通して、参加者は自尊感情を高めエンパワメントする機会を提供できた。

子ども虐待防止推進事業（沖縄県との協働事業）

沖縄県より委託を受け、平成26年度沖縄県子ども虐待防止推進事業として離島も含め、7回の講演会と研修会を企画、運営。広く県民に子ども虐待問題について周知することに努めた。「コドモとオトナが元気になる講演会」と題して3年目、子どもへの虐待や暴力について多くの大人に身近なこととして考えてもらうための取り組みが浸透してきた。

専門家向け研修として、要保護児童対策地域協議会の取り組みについて、西南学院大学の安部計彦さん。性教育についてリアライズ YOKOHAMA の橋本明子さん。ネグレクト問題について、ジャーナリストの杉山春さん。自尊感情を高め、虐待に至らない子育ての情報提供として、自己尊重トレーナーの北村年子さん。家庭で起きる虐待やDV防止への理解と支援について、臨床心理士の信田さよ子さんを講師に招聘し開催した。

(4) 地域ネットワーク事業

行政、民間団体とのネットワーク強化

「那覇市要保護児童対策地域協議会代表者会議及び実務者会議」「沖縄県要保護児童対策協議会」「沖縄県子ども・子育て会議」「沖縄県次世代育成支援対策推進協議会」「那覇市子ども政策審議会」「子ども支援ネットワーク交流学習会」に出席して、子どもを支援する関係機関との連携強化を図った。

インターンシップ、フィールドワーク等の受け入れ

那覇看護専門学校からインターンを受け入れ、学生たちにCAPの活動内容や子どもへの虐待について説明する他、通信や虐待防止講演会案内文の発送作業、大人ワークショップや子どもワークショップへ参加してもらい子どもへの暴力防止活動と子どもの人権について伝えた。他にも、ぐしかわ看護専門学校の学生をフィールドワークで受け入れた。将来、医療現場に携わる学生たちへエンパワメントの考え方、支援の在り方、CAPの理念と活動を伝えることができた。

児童養護施設職員等資質向上支援事業（沖縄県との協働事業）

CAPワークショップ提供（提供事業に詳細は記載）の他、児童養護施設職員を対象とし、外部講師を起用して支援ケースについて検討する、SV（スーパーヴァイズ）事業を実施。講師には、養護施設等、社会的養護の子ども達を支援してきた、琉球大学の本村真さん、名桜大学の竹沢昌子さん、元県職員の砂川恵正さん。臨床経験を元に支援方法を提示することは、参加者にも分かりやすく、今年度初開催であったが非常に好評であった。

また、養護施設職員および教育機関の関係者を対象としてリフカー研修も実施。子ども支援の一線に関わる関係者への情報提供も非常にニーズある内容であった。

性暴力被害者ワンストップ支援センター相談支援員等研修（沖縄県との協働事業）

性暴力被害者への支援の充実を図るために沖縄県が設置する「性暴力被害者ワンストップ支援センター」の開設に向けて、11月～2月にかけて相談支援員を育成する研修を実施した。中核機能である相談支援体制を構築するに当たり、県内外の講師による公開講座及び内部研修、リフカー研修への相談支援員の派遣などを行った。

その他、ご入学おめでとう大会への講師派遣

沖縄タイムス社主催の「ご入学おめでとう大会」（那覇市、名護市、うるま市全3回）へメンバーを派遣して新1年生とその保護者へ「自分を大切にする」というテーマで講話。新しい環境に入る前の不安な気持ちを和らげるとともに、子どもの気持ちを受けとめ、話しを聴くことの大切さを伝えた。その他、赤い羽根共同募金活動、各種ワークショップ、講座補助を行った。

(5) 会報等の発行事業

活動の報告を兼ねた通信を2回（7月と2月）に発行して会員と関係機関へ届けた。また、インターネットを活用して、ホームページとブログ・フェイスブックを随時更新しながら、講座や講演会、ワークショップの案内や報告を行うなど情報の発信に努めた。

(6) その他、目的を達成するために必要な事業

理事会、事務局会議の開催。

特定非営利活動に係る事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施場所	従事者数 (人)	受益者 (人)	支出額 (千円)
子どもへの CAPワーク ショップ (暴力防止 プログラム) 提供事 業	小学生ワー クショップ	26回 高原小学校6年生4クラス、北美小学校6年生3 クラス、上田小学校2年生7クラス、浦添小学校 4年生3クラス、北中城小学校1年生5クラス、 3年生4クラス、	40	831	4824
	就学前ワー クショップ	6回 相愛幼稚園、北中城幼稚園4クラス、泡瀬保育所		160	
	中学生ワー クショップ	42回 真和志中学校3クラス、神原中学校3クラス、鏡 原中学校6クラス、石嶺中学校5クラス、上山 中学校5クラス、松城中学校4クラス、寄宮中 学校6クラス、石田中学校5クラス、城北中学校5 クラス(すべて1年生)		1375	
	スペシヤル ニーズプロ グラム	5回 はごろも小学校、長田小学校、普天間小学校2ク ラス、大謝名小学校		60	
	その他	24回 美さと児童園(小学校低学年、高学年、中高生) 中城村つはっ子学童クラブ、牧港学童クラブ(低 学年、高学年)、母子生活支援施設浦和寮(就学 前、低学年、高学年)、母子生活支援施設さくら (小学生)、沖縄高等特別支援学校3年生3グル ープ、1年生5グループ、ごさまる学童クラブ、 自由の森学童クラブ、愛隣園(就学前、小学生、 中高生)、石嶺児童園(中高生)		368	
	デートDV 防止ワー クショッ プ	5回 宜野湾市立宜野湾中学校、普天間中学校、真志喜 中学校(すべて3年生)、嘉数中学校(1年生) 沖縄高等特別支援学校(1、2年生)		1150	
大人への CAPワー クショッ プ提供事 業	大人ワー クショッ プ(保育所、幼 稚園、学校)	21回 相愛幼稚園、上山中学校、神原中学校、鏡原中 学校、真和志中学校、石嶺中学校、松城中学校、寄 宮中学校、北中城小学校、上田小学校、浦添小 学校、石田中学校、はごろも小学校、ほるとのき 保育園、沖縄高等特別支援学校、城北中学校、普 天間小学校、平安幼稚園、長田小学校、大謝名小 学校、泡瀬保育所	40	512	4824
	教職員ワー クショッ プ	6回 浦添市立宮城小学校、沖縄市立高原小学校、沖縄 市立北美小学校、沖縄市教職員、北中城幼稚園、 北中城村保育士、		171	

	その他 連携機関、大 学、児童養護 施設等	50回 整体からり2回、北中城村要保護会議、沖縄県里 親会2回、名護療育園2回、就労支援センターち いろば、うるま婦人寮、就労支援センターたまん、 県立北部病院2、名桜大学、石嶺児童園4、美さ と児童園3、袋中園2、なごみ4、うるま市学童 指導員、愛隣園5、就労支援てるしの、母子生活 支援施設浦和寮、さくら、漲水学園4、島添の丘 4、つはっ子学童クラブ、真和志南ブロックPT A、ならさ3、牧港学童クラブ、子育て支援セン ターきたなかがすく		949	
	主催ワーク ショップ	3回 6/11 宜野湾市男女共同参画支援センターふくふく 11/26 宮城っこ児童センター 1/31 石嶺公民館		64	
	デートDV 防止ワーク ショップ	2回 5/21 市町村女性行政向けさくらんぼプログラム 2/6 南城市デートDV防止		80	
	本の販売	適宜 県内			
人材育成事 業	養成講座	2回 12/11,12,13 CAP 基礎講座 2/12,13,14 CAP スペシャリスト養成講座	5	60	147
	内部研修会	6/16 労働問題 (矢野淳子) 7/14 スマホ社会の子どもへの影響 (糸数貴子) 8/25 J-CAPTA トレーナー (木村里美) 研修会 8/26 SNP 研修会 (木村里美) 1/26 中央児童相談所訪問研修 (後野氏)		50	
	研修派遣	県内 17回 5/29 アルコール問題相談員研修 6/1 解決志向勉強会 6/13 レジリエンス講座 6/14,15 レジリエンス養成講座 7/29 ゲートキーパー研修 8/1 ゲートキーパー研修 9/21 女性への性暴力と法 10/25 非行のある子ども講演会 10/25 子どもの生と性の健康シンポジウム 11/28 サイバー犯罪研修会 11/29 九州沖縄子ども支援ネットワーク会議 1/12 「隣る人」映画上映会、交流会 2/2 境界線研修会 2/7 ネットメディア依存症フォーラム 2/8 沖縄県男女共同参画フォーラム 2/12 性暴力ワンストップ支援センター設立フォ ーラム 2/13 西原町要対協関係機関向け研修会		60	
	研修派遣	県外 1回 5月 スマホ社会の子どもたち研修 (兵庫)		1	
	定例会	10回 (4,5,6,7,8,9,11,1,2,3月) なは女性センター、県ボラセン、那覇市母子会 他			100

子どもへの暴力防止についての学習啓発事業	公開講座	5回 4/3 幼児期からの性教育 4/5 障がいのある子に伝える性 5/31 総会講演 アサーティブネス講座 7/29 アロハヨガとエンパワメント 8/4 知的障がいのある子ども性 2/20,21 リフカー研修	5	200	5887
	安全サポーター養成講座	8/25 安全サポーター養成講座プログラム検討のための研修会① 8/26 特別講座「不審者対策ウソホント」 9/25,10/21,11/18 安全サポーター連続講座 1/19 特別講座「自尊感情ワークショップ」		150	
	沖縄県虐待防止事業講演会	7回 9/1 安部計彦 那覇市（専門職のみ） 9/2 安部計彦 名護市（専門職のみ） 11/19 橋本明子講演会 名護市 11/22 橋本明子講演会 宮古島市 12/20 杉山春講演会 浦添市 1/17 北村年子講演会 石垣市 2/10 信田さよ子講演会 那覇市		939	
地域ネットワーク事業	地域ネットワーク会議	14回 ・なは女性センター連絡者会議 ・沖縄県要保護児童対策協議会会議 ・那覇市要保護代表者会議 ・那覇市要保護実務者会議 4回 ・那覇市子ども政策審議会 3回 ・那覇市子ども政策審議会・児童館部会 ・那覇市社協ボランティア団体関係機関連絡会 ・沖縄県子ども子育て会議 6回 ・沖縄県次世代育成会議 ・すこやか親子おきなわ2010会議 2回 ・車座ふるさとトーク ・社会的養護の子どもに関わる交流会 ・けーし風説者の集い ・子どもシェルター設立意見交換会	5	30	4178
	インターン等受け入れ	11回 ・那覇看護専門学校（10回） ・ぐしかわ看護専門学校フィールドワーク		50	
	児童養護施設職員等資質向上支援事業	・施設職員等へのCAPワークショップ提供 県内8施設で、計28回 ・県内8施設に講師を派遣し、スーパーヴァイズ研修のコーディネート実施 ・リフカー研修の実施（10月）	10	551	
	性暴力被害ワンストップ支援センター研修	11～2月 8日間（公開研修5日、非公開3日）	5		
	その他	5/30 浦添市立宮城小学校安全講話（全校児童向け） 6～11月 WeぷらんにんぐデートDV防止講座協力（浦添市立中学校） 9/19 糸満市びびよフェア講話 1/18,24,2/11 タイムス入学おめでとう大会 3/7 ほるとのき保育園親子向け安全講話 3/30 愛隣園（中高生）境界線ワークショップ	10	5600	

会報等の発行事業	会報の発行	年 2 回	5	600	167
	ホームページ	随時 事務所	3		
	その他メディア	5/12 RBC i ラジオ「虐待について」 FM とよみ「みやびの働く幸せ」 FM たまん 琉球新報子ども記者取材「いじめについて」 けーし風連載	5	10	
その他、目的を達成するために必要な事業	事務局活動	総会 1 回 理事会 4 回 (5/17,8/16,10/22,3/4) 事務局会議 50 回 労務・会計など 琉球銀行「源河朝明記念那覇市社会福祉基金」助成認定 (11/20) 公益財団法人社会貢献支援財団「社会貢献者表彰式典」 (12/1 東京)	5	20	421